

インドネシア 「グリーン・ウォール」の普及と拡大

現地からのお便り

2014 年 11 月 14 日
コンサベーション・インターナショナル

新たなフェーズへ

2008 年から始まったプロジェクトは、新たなフェーズに入りました。私たちは、地元コミュニティと共に作り上げてきたこの 300 ヘクタールの森、グリーン・ウォールをお手本に、同じように森林再生を必要としている 1 万ヘクタールの荒廃地で森を再生するという大きな目標を持っています。2014 年から、300 ヘクタールの若い森の管理と地元コミュニティの生活改善に向けた支援を続けながら、取り組みの拡大を目指した新たな活動も開始します。



森林管理

地元コミュニティと国立公園レンジャーと一緒に、毎月の見回りを続けています。多くの木々は、強く、大きく育ち、天気や病気の影響を受けにくくなりました。残念ながら枯れてしまった木は、雨季を待って、植え替えます。

今期、インドネシア森林局で森林保全を指導する職員が 25 名、視察に訪れました。看板の前で、皆さん、熱心にプロジェクトについての説明に耳を傾けました。



組織力の強化

プロジェクトでは、果樹を植え、地元コミュニティの農業を支援してきました。農家がきちんとそこから利益を得ていくためには、組合のような組織的な力が必要と考えています。私たち

は、国立公園のスタッフ約 20 人、そしてコミュニティ約 50 人と話し合いの場を設け、計画を説明しました。国立公園のスタッフもコミュニティも、私たちの計画に大いに賛成してくれました。



左：国立公園スタッフとの会合、右：地元コミュニティとの会合

組合のアイデアを地元コミュニティに知ってもらうため、別の地域で活動をしている組合の協力で、組合についての基本的なこと、組合で作っている製品やその販売について学ぶ研修を開き、45 人が参加しました。ここは、大きな街から遠く、情報も限られます。参加者にとって、生の経験を聞くことのできる、貴重な機会となりました。



左：組合に関するトレーニング、右：トレーニング参加者

普及啓発

プロジェクトを紹介する写真集が完成しました！2008 年の開始から 6 年間の取り組みの解説付きです。写真集は、私たちのパートナー、政府、教育機関、もちろんコミュニティにも贈られました。



看板

9月、新たな看板が加わりました。合計3つの看板が現地に立っています。周りの雑草を刈ったり、傷があれば修理したり、コミュニティと共に大事に管理しています。



2014年6月



2014年8月
1号



2014年9月



2014年7月



2014年8月
2号



2014年9月



9月に設置した3号

大収穫際

インドネシアでは、お米は何回か収穫できます。でも、この季節の収穫は特別です。収穫を感謝し、みんなで協力して収穫し、そしてみんなで食べます。



※画像および文章の無断転用はご遠慮ください。